

2009年度

科目名	日本の歌謡A				
担当教員	佐々木 聖佳				
配当	文 2・教育2・人間2			コード	22230
開期	前期	講時	火曜日2限	単位数	2
授業テーマ	歌謡文芸に親しむ				
目的と概要	この講義は、国文学の立場から、日本に古代から伝わる歌謡を取り上げ、時代的な背景や歌の発想、表現などの諸問題について講じる。多くの人の心をとらえ口ずさまれてきた歌謡には、その時代の人々の感情や感覚が文芸として昇華された、優れたものが多い。古代から近代までの歌謡について、詞章面からそのよさ、おもしろさを味わい、現代にも通じる歌の力について考えていくことを目的とする。なお、「日本の歌謡A」では、古代から鎌倉時代までの歌謡について講じる。				
成績評価法	前期末試験の成績・平常点・講義時の小レポートを総合的に評価する。				
テキスト	テキストは用いず、毎時間プリントを配布して講じる。				
参考書	必要に応じて、講義の中で紹介する。				
履修に当たっての注意・助言	古典文学の講義であるので、古文を読むことが多々あります。				
講義計画					
第1回 講義概要 及び 日本歌謡史 第2回 古代歌謡(1) 童謡 第3回 古代歌謡(2) 歌垣 第4回 古代歌謡(3) 恋の歌 第5回 古代歌謡(4) 名前の呪力 第6回 古代歌謡(5) さかさま歌の呪力 第7回 歌謡と囃子詞 第8回 雅楽(1) 雅楽とその時代 第9回 雅楽(2) 雅楽の受容 第10回 今様(1) 今様とその時代 第11回 今様(2) 今様と白拍子 第12回 今様(3) 『梁塵秘抄』の歌1 第13回 今様(4) 『梁塵秘抄』の歌2 第14回 流行歌の魅力 第15回 まとめー歌謡文芸の世界ー					